

新型コロナワクチン「令和5年春開始接種」が始まります



- 【接種期間】 5月24日(水)～8月31日(木)
【使用ワクチン】 国から供給されるモデルナ社製のオミクロン株対応2価ワクチン (BA.4/5)
【対象者】 初回接種 (1・2回目) を終了後、前回接種から3カ月以上経過した下記の方
※すべての方を対象とした「秋開始接種 (9月以降予定)」の詳細は、今後お知らせします。

対象者	接種券・申請方法
65歳以上の方	前回接種から3カ月経過した65歳以上で年齢の高い方から5月8日より順次発送します。※未使用の接種券をお持ちの方は、その券を使用ください。
基礎疾患等を有する5～64歳の方	接種を希望される方は、接種券の発行申請が必要です。 ■申請方法 (次のいずれか) ①インターネット (町ホームページ) 申請 ②役場での窓口申請 ③郵送申請 ※郵送の場合は町ホームページから「接種券発行申請書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ下記郵送先までお送りください。 ※接種券の発送は申請後1～2週間程度かかります。 ※未使用の接種券をお持ちの場合は、その券を使用いただけますが、その旨、下記問合せに申出ください。(申出がない場合は予約はできません)
医療従事者や高齢者施設・障害者施設等の従事者	



インターネット
申請フォーム

●基礎疾患等の範囲 (該当者は必ずご確認ください) ※重症化リスクが高いと医師が認める方も対象となります。

【18歳未満の場合】

- ☐慢性の心臓、腎臓、呼吸器、肝臓の病気 ☐病気や治療による免疫機能の低下
☐神経疾患や神経筋疾患を原因とする身体機能の低下 ☐内分泌疾患 ☐消化器疾患
☐染色体異常 ☐血液の病気 ☐代謝性疾患 (糖尿病を含む) ☐悪性腫瘍 ☐膠原病

【18歳以上の場合】

- ☐慢性の心臓、腎臓、呼吸器、肝臓の病気 ☐病気や治療による免疫機能の低下
☐神経疾患や神経筋疾患を原因とする身体機能の低下 ☐染色体異常 ☐睡眠時無呼吸症候群
☐血液の病気 (鉄欠乏性貧血は除く) ☐インスリンや飲み薬で治療中又は合併症のある糖尿病
☐重い精神疾患 ☐知的障害
☐BMI が30以上の肥満の方 (BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m))

予約方法



接種券到着後、予約できます。予約方法は接種券同封の案内チラシをご覧ください。

※65歳以上の方で未使用の接種券をお持ちの方には、案内はがきをお送りします。到着後、予約方法をはがきでご確認ください

郵送先・問い合わせ

〒069-1512 栗山町松風3丁目252番地
町住民保健課健康推進グループ ☎73-2256

※新型コロナに関する問い合わせ先が変わりました

旧) 新型コロナウイルス対策室 ☎76-7065
新) 町住民保健課健康推進グループ
☎73-2256

【お知らせ】 乳幼児 (6カ月～4歳) の特例臨時接種の期間は、令和6年3月末まで延長されました。小児 (5～11歳) の追加接種も、オミクロン株対応2価ワクチンとなり、接種期間が8月末まで延長されました。※対象者には個別案内済みです。

栗山学び隊 No.36

介護福祉学校 (2年: 土門萌笑さん・松田朋子さん)
×
谷田製菓株式会社 (代表: 谷田進太郎さん)

老舗まつりと歩んだ20年来的「つながり」

4年ぶりに開催された「くりやま老舗まつり」。谷田製菓会場では、工場見学や物販が行われるなか、スタッフとして働く介護学生の姿がありました。
「初年度の20年以上前から学生バイトで参加していたので、代々皆さんの立派に働く姿を見て、すっかり学生のファンになりました」と谷田さん。
「学業でも普段から目的を持って学ぶ姿は、自分の若い頃と比べて

すごい」と言います。学生たちは来場者の案内や接客などを担当。町出身の土門さん・松田さんは、多くの来場者でバタバタでしたと言いますが「今まで参加する側でしたが、運営として関わりたくさんの笑顔が見れて楽しかった」と話します。最後に「ぜひ来年も」と話す谷田さん。「町の良さを知る貴重な機会。後輩たちにPRしておきます！」と話していました。



町出身の土門さん (左)・松田さん (中央)、谷田さん (右)



9人の介護学生が老舗まつりをサポートしました

① ついに始動!! 栗山高校女子硬式野球部



@KURIYAMA_W.BASEBALL

女子野球部の様子はSNSでも発信中!

「ようやく単独チームとして始動できることがすごく嬉しいです」と話す、金由起子監督 (元女子野球日本代表主将)。今年は道央・道南・道東、神奈川県など、道内外から野球への熱い思いをもった14人が入部し、昨年結成された同好会から「部」に昇格しました。

5月には早くも大会を控える新生チーム。ひたむきに白球を追いかける、彼女たちの「青春」に今後も目が離せません。

